

伊勢丘学区まちづくり推進委員会

委員長 久保 實

（問合せ先） 084-947-0511（伊勢丘公民館）

事業内容

（1）世代間交流

- ① 幼児・児童支援 絵本プレゼント活動への協賛（通年）

（2）思いやりのあるまちづくり

- ① 人権標語の募集と啓発（12月17日）人権標語クリアファイル作成・配布
- ② 団体別研修会（9月26日）「高齢者の人権～老いてなお輝く命を生きる～」
- ③ 住民学習会（10月～11月）DVD鑑賞とアンケート

（3）さくらの再生

- ① さくら並木の整備（12月8日下草刈りを30名で実施）

（4）芝桜の整備（通年）

（5）ばら花壇の整備（通年）

（6）軽運動の推進

- ① 学区ユニカル大会（6月3日）（例年の半分の定員にて実施）
- ② 学区内スポーツ大会（11月8日 ソフトボール大会のみ実施）

（7）地域活性化

- ① 歌声喫茶（4回/年）（リズムあそび編）
- ② 小町くらぶ（9回/年）

（8）エコ活動

- ① 子どもエコクラブ（小鳥巣箱作成）
- ② グリーンカーテンの普及（4～5月200鉢配布）
- ③ 資源回収（毎月第3日曜日、但しコロナ禍で中止の月もあり）

（9）広報活動

- ① 全戸配布広報紙（4回/年）

（10）まちづくり推進委員会運営事業

（11）防災活動（2月28日 防災機材の設備と訓練を実施）



さくら並木の下草刈り



防災機材の訓練

成果

コロナ禍で事業・行事が中止となる中、小町くらぶで感染症対策に留意しつつ作品展を開催し、地域を盛りあげることができた。

課題

コロナ禍が終息しない限り次年度の事業計画も実行できない。

課題解決にむけて

今年度新型コロナウイルス感染症対策で培ったノウハウを生かして、次年度へ取り組んでいきたい。

伊勢丘学区の絆を結ぶまちづくり

◇ 歌声喫茶 ～リズムあそび編～



例年は、「歌って笑って若返る」を合言葉に行っていた歌声喫茶ですが、感染症予防のため歌は歌わず、様々な楽器に触れてリズムあそびや脳トレをして楽しみました。

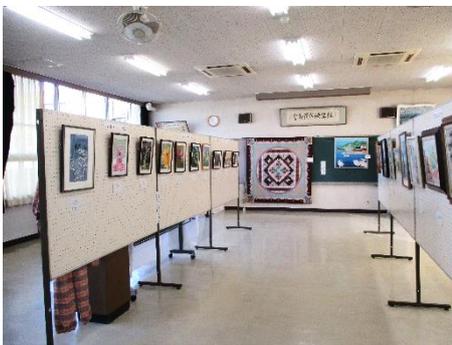
音楽がコロナ禍での不安を癒してくれました。

◇ みんなで作る作品展



公民館サークルと伊勢丘小町くらぶが中心となり、学区で作品募集を行い、様々なジャンルの作品展をしました。

多くの人が見学に訪れ、好評を博しました。



来場者の感想を貼って、すてきな絆ツリーができました。

◇ 軽運動の推進 ユニカール



高齢者はもとより子どもたちにも人気のスポーツ、ユニカール。コロナ禍でいかに安全に実施するかを検討し、諸対策をとりながら10月25日に開催しました。

密を避けるために通常6レーンのところを3レーンにし、参加者も100人を50人に半減し、換気も充分に行いました。

参加者の連絡先、2週間以内の感染拡大地への旅行の有無を確認し、検温、手指の消毒、マスク着用等の感染防止策を徹底し、久しぶりのユニカールを堪能してもらいました。

コロナ禍で、絆の大切さとまちづくり事業の重要性を再認識しました。